

公共交通がさらに充実

4月1日(日)から75歳以上の人は誰でも、「もーりーカー」の利用が可能に

「もーりーカー」は事前登録制の公共交通機関です。電話予約で各乗車場所から特定の目的地まで送迎します。

対 市内在住で、次のいずれかに該当する人

※原則、介助が不要で、1人で乗り降りができる人

- ・満75歳以上(平成30年4月1日～)
- ・満65歳以上で運転免許証または自家用車を有していない
- ・病気やけがなどの身体的な理由で、運転免許証を取得できない、または車の運転ができない
- ・3歳までの子どもがいる
- ・妊娠中で自家用車の運転が困難

登録方法 登録申込書に必要事項を記入し、郵送または直接地域振興・交通政策課まで。

※申込書は地域振興・交通政策課または各地区会館に設置

運行日 年末年始を除く毎日

予約方法 登録後、利用希望日の2週間前～前日に専用ダイヤル(☎(583)1133)へ予約(受付：午前8時30分～午後6時)

¥400円/回(1人)※未就学児は無料。障害者・療育手帳などをお持ちの場合は200円(登録時に申請要)

他詳しくは、「ご利用ガイド」(地域振興・交通政策課または各地区会館に設置)をご覧ください。

高齢者おでかけパスがお求めやすくなります

今年度も「高齢者おでかけパス」と「スーパー学割バス定期券」を販売します。

①高齢者おでかけパス

1ヵ月間、市内路線バスが乗り放題のパスです。

¥2,000円(税込)/月(1,000円引き下げ)

対市内在住の65歳以上

②スーパー学割バス定期券

市内を走る定期路線(堅田駅含む)の定期を安く購入できます。

¥・区間運賃300円以下の場合：5,000円(税込)/月
・区間運賃310円以上の場合：8,000円(税込)/月

対市内在住の学生

販売場所 いずれも近江トラベル 守山旅行センター(セルバ守山1階)で購入できます。

※①は速野・中洲会館で申込受付および引き渡し可。

②は江若交通株式会社本社(大津市真野)または堅田営業所(堅田駅前)でも購入可。

問〒524-8585 吉身二丁目5番22号

地域振興・交通政策課

☎(582)1165 ☎(583)5066

市長から市民の皆さまへ

市長メッセージ

本日から新たな年度が始まります。進学や就職など新しいスタートを迎えられる方も多くことと存じます。素晴らしいスタートとなりますことを心よりお祈り申し上げます。

3月3日に、守山市健康推進員連絡協議会30周年記念大会が開催されました。また、これまで本市の赤十字奉仕団は各学区単位で活動を展開してきましたが、4月に組織統合し、守山市赤十字奉仕団が誕生し、より活発な奉仕活動を展開することとなりました。

自治会、民生委員・児童委員、福祉協力員、健康推進員、赤十字奉仕団、更生保護女性会、ボランティアグループを始め、地元の関係者の皆様のご尽力や見守りにより、多くの皆様が、健やかで安心して生活を送っていただいているところです。改めて関係者の皆様に感謝申し上げます。

本日4月1日から、守山市市民病院は、滋賀県済生会による運営となり、済生会守山市市民病院として新たにスタートいたします。今日までの市民病院の基本的機能は維持し、小児科・透析といった市民病院の特徴を堅持する中で、特に回復期に力を入れ、済生会の技術力とネットワークで、通院・入院されている患者様やご家族の皆様にとって、より一層、信頼と愛着のある病院となりますよう、済生会と共に取り組んでまいります。

平成30年度におきましては、「環境施設更新事業の推進」を最重要施策とする中、4つの柱、「①子育て支援策・福祉施策の充実」、「②教育環境の充実と文化・スポーツの振興」、「③地方創生と連携した地域活性化と環境学習都市の推進」、「④市民参画と信頼される市政運営」を定め、市民福祉の向上と市政の発展に取り組んでまいります。

まず、安心して子育てができる環境の充実として、保育園の待機児童の解消に向けて、処遇改善や「保育人材バンク」設置による保育士等の確保はもとより、古高保育園の建替えによる定員枠の拡大(平成31年4月開園、定員200名程度、休日保育、一時保育等の特別保育も実施)、幼稚園預かり保育の拡充(吉身幼に加え、立入が丘幼・速野幼での実施)などにより、全力を尽くして取り組んでまいります。

一方、近年、核家族化やSNSの普及等、子ども達を取り巻く環境が大きく変化しております。こうした中、健康福祉部に「子どもの育ち連携担当」を設け、妊娠期から学齢期まで、縦割りでなく横串で、教育・保健・福祉部門が一体となった取り組みを展開し、家庭や地域の皆様と連携して、守山市全体で子ども達の健やかで心豊かな成長を支えてまいりたいと考えております。

また、高齢化の進展を踏まえ、認知症対策の推進や地域包括ケアシステムの充実に向けた地域密着型サービスの充実に取り組むとともに、高齢者等の皆様の身近な相談・支援の拠点として市内2ヵ所目となる南部地区地域包括支援センターの整備(平成31年4月開所)を進めてまいります。

7月には、「市民の迎賓館」として皆様が様々な活動や会食などに活用できる「大庄屋諏訪家屋敷」、11月には「本の森」をテーマとした新図書館が開館する予定です。

平成30年度も、市民の皆様が真に「住みやすい」と実感頂けるよう、皆様に寄り添い、皆様とともに諸課題の解決に鋭意取り組んでまいりたいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

守山市長 宮本和宏